

Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー 東京11階
 TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554
 HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org> E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp
 会長 北岡修一 幹事 佐原目朗 創立 : 1988年9月21日



「激動の世界のパワーゲーム～米中貿易戦争と日本企業～」

中部大学特任教授 細川 昌彦 氏

まず激動の米中関係についてお話ししたい。

来年の大統領選を控えて、成果をどう支持層にアピールするかが大事なトランプ大統領。国内経済の苦境に直面しながら国内政治上妥協できない習近平主席。こうした二人による関税合戦を巡る駆け引きは山あり谷ありで続いていく。そしてその行方は株価の行方だけでなく、日本企業のビジネス、経営判断にも直結する。

しかしもっと深刻なのは米国の底流に流れている根深い中国への警戒感である。ファーウェイを巡る動きを見ても、米国による規制は、サプライヤーやユーザーである日本企業にとって対岸の火事ではない。

さらに今後、米中の技術覇権を巡る争いは収束するどころか、ますますヒートアップしそうだ。中国による米国企業への投資の規制強化、中国への技術輸出の規制強化の動きも顕在化している。こうした動きに呼応して日本政府も投資規制、輸出管理の強化に動き出そうとしている。日本企業のビジネスにも波及することは必至だ。

今後、世界の経済はますます分断へと向かうのか。それに伴って日本企業もこれまで意識する必要がなかった安全保障を意識して経営することが必要になってくることへの警鐘を鳴らす。

なお時間があれば、補論として、日米関係、日韓関係についても触れてみたい。現在国会で審議中の日米貿易協定の背景と問題点を見ていく。特に自動車産業への影響は見逃せない。さらに、韓国との関係でも、先般の輸出管理の厳格化が経済、産業にどのような影響があるのかを見ていくことにしたい。



細川 昌彦 (ほそかわ まさひこ)

1955年1月20日 生れ (大阪)

中部大学 特任教授

学 歴

1977年3月 東京大学法学部卒業

2002年6月 ハーバード・ビジネス・スクールAMP修了

職 歴

1977年 通商産業省入省

山形県警本部警務部長、スタンフォード大学客員研究員など歴任

1998年 米州課長

2002年 貿易管理部長

2003年 中部経済産業局長

2004年 日本貿易振興機構ニューヨーク・センター所長

2面に続く

第1448回例会 11月13日 (水)

「激動の世界のパワーゲーム
 ～米中貿易戦争と日本企業～」
 中部大学特任教授 細川 昌彦 氏
 (紹介者 梶野慶太会員)

次回のプログラム

第1449回例会 11月20日 (水)
 「ミスコンテスト世界大会に出場して」
 有限会社 光明舎 代表取締役 笹川正子氏
 (第2560地区 長岡西RC)
 (紹介者 笹川敏幸会員)

続き

2008年 中京大学 経済学部教授

2009年 中部大学 特任教授

現在は教鞭をとる傍ら、愛知県政策顧問・グローバル企業数社の顧問・社外役員も務める

テレビ・コメンテーター

TBS「Nスタ」レギュラーコメンテーター、NHK日曜討論、BSフジ「プライムニュース」、BSテレ東「日経プラス10サタデー」、BS TBS「サンデーBizスクエア」、など多数

著書・寄稿

『暴走トランプと独裁の習近平にどう立ち向かうか?』 光文社新書 2018年11月

『メガ・リージョンの攻防』 東洋経済新報社 2008年8月

『輸出管理 韓国への警鐘』 中央公論 2019年10月号

『歪んだ報道が韓国を暴走させる』 Voice 2019年9月号

『“オールアメリカ”による経済冷戦』 Voice 2018年11月号

『対韓輸出管理厳格化の是非』 日本経済新聞 経済教室 2019年8月22日

『日米経済対話の行方』 日本経済新聞 経済教室 2017年4月

『メガ・リージョンの視点で』日本経済新聞 経済教室 2008年7月21日

『輸出管理で日本主導を』 日本経済新聞 経済教室 1994年10月

産経新聞「日曜経済講座」 2017年11月～連載中

日経ビジネスオンライン「細川昌彦の深層・世界のパワーゲーム」 2017年4月～連載中

会報委員会

委員長 笹川敏幸 / 副委員長 森田尚樹

委員 内村篤史・江成信武・神原正樹・佐々木 智・築野 修・西原将大・宮崎 清・吉村利文